

リーディングDXスクール事業【実践事例】

幸手市立さかえ小学校（埼玉県）【指定校】

【取組内容】 外部指導者の指導内容とヒラメ養殖体験から得た情報をまとめる活動【5年 総合的な学習の時間】

- 5年生では、ヒラメ養殖体験を行っている。定期的に来校されるヒラメ養殖の外部指導者から得た情報と、毎日自分たちが行っているヒラメ養殖活動をとおして得た情報とを自分たちで咀嚼して、グループで考えをまとめ、Microsoft PowerPointでまとめる活動を行った。

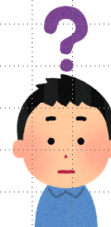
【左】外部講師
授業・養殖活動【下】児童が
まとめたプレゼン
資料の一部

養殖経験を踏まえて、命をつなげるを選んだ 動機

- ・一番**メリット**が大きい
- ・難易度もそれまで**高くない**（現実的）
- ・ヒラメも**長く生きれる**から
- ・だから、**命をつなげる、がいい**と思った

今後の**養殖**や**食**に対しての**考え**

- ・命をつなげたい
- ・命をつなげるため→**4匹を絶対に死なせない**
- ・命をなくさせない・大切にする。
- ・今まで→何気なく食べる
- ・これから→食べ物に**感謝**をする



【実践から見てきたこと】
情報活用能力は学習指導要領において「学習の基盤となる資質・能力」として位置づけられている。体験を通して学んだ(INPUT)した情報を左記スライドとしてまとめる(OUTPUT)ことを繰り返す経験は、児童の情報活用能力を育む一助となった。今後は、何のために(Why)を一層意識して情報を整理・表現させていきたい